

2021年冬 TC 技術検定 2 級使用情報制作ディレクション[DR]実技試験の出題意図

ディレクション試験の実技は、前回に引き続き、「マネジメント」、「企画書作成」、「制作の判断」、「構成」の4課題が出題された。問題形式は、従来どおり、計算、選択式、記述と揃っていたが、難易度の異なる課題が取り混ぜて出題されているので、時間の配分に注意が必要である。題材は、データベース管理やケアサービスなど新しいもの取り上げられていた。

【課題1】

データベースを使ったマニュアルの開発日程の管理が題材。データベースで管理する日程に関する項目の属性や条件の設定を解答する。開発日程を管理する上で着目すべき項目やその優先順位を理解できていれば解答できる。

【課題2】

電子レンジの新製品シリーズの使用説明の企画書の完成が題材。企画のコンセプトと企画の方針、使用説明の企画書から、媒体ごとに対象者を特定した場合の要件や注意点を解答する。また、DTP、および翻訳が容易にできる構成を前提としたツールを解答する。企画コンセプトと方針を読むと、企画書での注意点などが解答できる。

【課題3】

ケアサービスに関する業務マニュアルの Web 化の検討が題材。印刷と Web でのさまざまな視点・項目での比較を解答する。さらに、制作会社の選定について、整理された特徴から、費用を計算する。ディレクターとして、Web 化の提案を行う際に使う項目であり、条件を読んでいくと解答できる。金額計算も近年新たに登場したサブスクリプションなどとの比較が出てくるが、計算そのものは単純である。

【課題4】

Wi-Fi ルーターの取扱説明書の小冊子の作成が題材。機種ごとにすべての情報が入った冊子から、機種ごとに必要な説明項目を選別して解答する。Wi-Fi ルーターにモードの違いが図示され、接続する機種ごとの説明項目一覧を読み解くことで、指定された機種の小冊子の項目が解答できる。

2021年冬 TC 技術検定 2級使用情報制作実務[MP] 実技試験の出題意図

制作実務試験の実技は、前回と同様に、「構成」「ライティング・作図指示」「イラスト表現」「校正」の4課題で、どれも実務的な出題であった。問題形式は、ライティングだけでなく、図の指示や項番のつけ方など、制作実務に欠かせないスキルが含まれていた。題材はロボット掃除機や遠隔教育支援アプリなど新しいものが取り上げられ、機器に貼るステッカーや店内の表示パネルなど表現する情報も多様であった。

【課題1】

コインランドリーの機器入れ替えに伴い設置する、店内表示のパネル内容が題材。設備（洗濯機・乾燥機）の機能と金額、設備の使い方や注意事項から、表示パネルに記載する内容を選別して解答する。さらに、各機器の時間数と料金から、特定の条件での時間数と合計金額を計算する。どちらも、パネル表示に必要な内容を作成するものであるから、内容を読むことで解答できる。

【課題2】

クレジット決済端末に貼るステッカー（取扱説明）が題材。機器に貼ることで、4コマでイラストと説明文を入れたものを作成するため、イラストの指定、説明文の記述を解答する。ステッカー作成に対する条件や指示が、議事録として与えられ、ラフ原稿ドラフトが示されている。これに対し、執筆ルールに従い、ライティングを行う。イラストの指示は、例に合わせて行う。どれも、条件に従えば解答できる。

【課題3】

スマートフォンと連携するロボット掃除機のスマホ側の Web マニュアルが題材。スマホと連携して取扱説明書が表示されるため、従来の印刷媒体とは異なる図の合い番号指示を解答する。スマホならではの特徴（全体を表示すると小さい、拡大すると部分しか表示されない）を意識することで、紙媒体との違いに気づき、解答できる。

【課題4】

遠隔教育（授業）を支援するクラウドサービスアプリの翻訳表示の校正が題材。支援システムの概要、スマホアプリでの表示画面と画面遷移から、抜粋された自動翻訳原稿を条件に従った校正を解答する。E-learningなどで使われる画面構成と遷移を理解し、自動翻訳の癖に気づくと、校正は解答できる。